

転倒! 2024(令和6)年 募集中 予防川柳

転倒・転落で亡くなる方の数が年間1万人を超え、
交通事故死の3倍以上になっていることをご存知ですか？

高齢者の転倒・転落は、脚の骨折や頭のケガなどの重大な傷害を引き起こすことがあり、寝たきりや要介護の主要な原因にもなっています。高年齢で働く人も増えつつある今、転倒・転落の予防を啓発することが、ますます重要になっています。一人ひとりが健やかで実りある日々をおくれるように、転倒予防に対する意識づけを高めるユーモアあふれる川柳を広く募集します。

募集
期間

2024(令和6)年

5/1(水) ~ 7/31(水)

応募方法

厚生労働省(SAFEコンソーシアムポータル)の
フォームからご応募ください。右のQRコード
からも応募できます。



2023年受賞作品



詳しくは上記ホームページまたは裏面をご覧ください。

主催



日本転倒予防学会

共催



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



Safer
Action
For
Employees

転倒予防川柳 歴代の大賞作品

年次	作品	作者
2011年	口先の 元気に足が 追いつかず	埼玉県 掛川 二葉
2012年	コケるのは ギャグだけにして お父さん	兵庫県 奥田 明美
2013年	あがらない 年金こづかい つま先が	静岡県 石川 芳裕
2014年	つまづいた むかしは恋で いま段差	長崎県 福島 洋子
2015年	滑り止め つけておきたい 口と足	東京都 佐川 晶子
2017年	離さない 昔は君で 今は杖	愛知県 井深 靖久
2018年	つまずきは 孫は分数 祖母段差	栃木県 青柳 婦美子
2019年	クラス会 終わって杖の 探し合い	愛知県 ペンネーム さごじょう
2020年	密減らし 増やしたいのは 骨密度	兵庫県 田村 功
2021年	いつまでも 密と思うな 骨と愛	神奈川県 佐々木 恭司
2023年	スマホより 手すりを持って 上り下り	愛媛県 のほほん
厚生労働省特別賞	こけかけた 床見たけれど 何も無し	徳島県 羽場 ゆり子

※2016年は受賞者の都合で辞退。2022年は休止。

2024年 転倒予防川柳 応募概要

主催：一般社団法人 日本転倒予防学会 共催：厚生労働省

応募期間

2024(令和6)年

5/1(水) ~ 7/31(水)

目的

誰もが親しみのもてる川柳を通して、転倒予防の社会啓発活動を推進すること

川柳の内容

転倒予防のために、個人で実践していること、地域や周囲の人に勧めている事、転倒を防ぐ工夫や、普段の生活のなかで気をつけたらよいと思うこと、転倒に関連する様々なできごと、思いなど

- 応募資格 特にありません ただし、12歳未満の入賞者に関しては入賞確定時に、保護者の同意を確認します。海外からの応募も可能です。
- 応募方法 厚生労働省(SAFEコンソーシアムポータル)のフォームから
- 応募作品数 1人1作品(応募者の自作で未公表のもの)
※複数作品の応募が確認された際は、1作品目を有効とさせていただきます。
- 賞の種類 大賞、厚生労働省特別賞、佳作、準佳作(該当なしの場合あり)
- 受賞の通知 選定後、公表前にメールまたは電話、郵便で受賞者に通知
- 公表方法 テン トオ 転倒予防の日10月(テン)・10日(トオ)にちなんで、日本転倒予防学会と
2024年10月10日(木) 厚生労働省(SAFEコンソーシアムポータル)のホームページ上にて
- 公表項目 作品、都道府県(国・地域)、氏名(ペンネームも可)
- 受賞作品の使用 社会啓発のために、右記の項目で使用されることがあります
 - 1 厚生労働省による転倒災害その他の労働災害防止対策
 - 2 日本転倒予防学会の関わる転倒予防啓発活動や事業
 - 3 日本転倒予防学会が認めた活動や事業(営利・非営利)
- 著作権の所在 作者に帰属します
- 個人情報 本転倒予防川柳の運営に限り使用し、第三者に開示することはありません

お問い合わせ先

厚生労働省(SAFEコンソーシアム)事務局

E-Mail

info@safe-consortium.jp